

けんぽく

第31号[平成28年6月号]

県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する情報をお知らせします。



平成28年6月30日発行

「食」と「ふるさと」 新生運動ニュース

編集・発行 福島県県北農林事務所

◆「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動県北地方推進本部総会及び意見 交換会」を開催！

平成28年6月22日（水）、福島県農業総合センター果樹研究所 大会議室において「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動県北地方推進本部の総会及び意見交換会」を開催しました。

県北地方推進本部では、平成25年度から「食の安全・安心」、「生産再生」、「風評払拭・消費拡大」、「情報発信」の4つの運動を柱として、様々な活動を展開しています。

総会では、全国農業協同組合連合会福島県本部福島営農事業所等各種団体や市町村など、生産から流通・消費に至る関係団体が出席し、本年度の事業計画等について協議しました。



総会における事業報告及び事業計画説明の様子

また、会議の後半には、「女性農業者の視点から『県産農産物の魅力とおいしさ発信』」と題して、県北管内の3名の女性農業者に話題提供いただき、意見交換を行いました。参加いただいた女性農業者

は、福島市の「株式会社 安齋果樹園」取締役 安齋さと子氏、伊達市の「まごころ会」会長 伊東喜代子氏、二本松市の「ななくさ農園」関奈央子氏です。

安齋氏からは、様々な団体と連携して果樹のPRを行っている事例について、伊東氏からは、コミュニケーションを取りながら震災後も学校給食へ食材を提供している事例について、関氏からは、移住して始めた有機農業や発泡酒作りなどに取り組んでいる事例について、それぞれ話題提供いただきました。



管内の3名の女性農業者からの話題提供

3名の発表に対して、出席者から活発に意見が寄せられ、各構成団体の皆様の今後の活動の参考になった様子でした。

復興・創生期間の1年目となる今年度も、より一層、新生運動を活発化させていきたいと思っておりますので、今後とも皆様の御理解と御協力をお願いいたします！

(企画部)

◆「献上桃の郷」桑折町を全国に発信します！

～スマイルピーチがももPRに来所しました～

平成28年6月28日（火）、桑折町観光キャンペーンクルー「スマイルピーチ」の今年度のメンバー5名と、高橋宣博桑折町町長が、今年のももPRに向けて当農林事務所に来所されました。



高橋桑折町長(左)、水戸当農林事務所長(中央)とスマイルピーチキャンペーンクルーの皆様

桑折町では3年前から観光キャンペーンクルーとして、スマイルピーチを選任し、ももを始め農産物や観光PR活動に取り組んでいます。ピーチシーズンが始まり、スマイルピーチの皆様も準備万全。もものおいしさ、魅力をPRしていただきました。

なお、桑折町では、4月に「献上桃の郷」の商標登録が認定されました。23年連続で、今年もふくしま未来農業協同組合と桑折町で皇室へのももの献上を行います。

スマイルピーチの皆様は、これから県内外を駆け巡り、ももの魅力と「献上桃の郷」を全国に向けて発信してまいります。皆様の応援をよろしくお願いいたします！

(企画部)

◆松川町水原地区生産組合が「豊かなむらづくり顕彰事業」優秀団体受賞祝賀会を開催！

平成28年6月11日（土）、ふくしま未来農業協同組合松川支店において、「平成27年度豊かなむらづくり顕彰事業」農業生産部門優秀団体として受賞した福島市の「松川町水原地区生産組合」が受賞祝賀会を開催しました。当日は、関係者など約70名が出席しました。



受賞を祝う乾杯の様子

祝賀会では、同組合 丹野幸雄組合長が「米価下落の流れをどうにかしようという想いから3人で立ち上げた組合が、こうして優秀団体と認められるようになったのはとても誇りであり励みになる。今後も新しいことに挑戦して素晴らしい田園風景を守り、後輩に引き継いでいきたい」と述べられました。続いてふくしま未来農業協同組合菅野孝志代表理事組合長や当農林事務所長などから、次々に祝辞が述べられました。



松川町水原地区生産組合 丹野組合長の挨拶

同組合は、近隣の畜産農家と耕畜連携の契約を進めるとともに、稲WCSの収穫、水稻直播・水田除草の受託など高齢農家も取り組める体制を構築しました。また、地域の担い手となる「農事組合法人福島未来農業生産組合」の設立支援を行うなど、地域の模範となる素晴らしい活動を行っています。

同組合の今後のますますの御発展を御祈念申し上げます。

(企画部・農業振興普及部)

◆青年農業者組織と子供たちがサツマイモの苗を植えました！

平成 28 年 5 月 24 日（火）、福島市において、平野農業後継者協議会が、福島市立ひらの幼稚園の 21 名の園児と一緒に会員のほ場でサツマイモの苗を植えました。

平野農業後継者協議会は、震災前から遊休地を活用し、サツマイモの栽培を行っています。昨年度は平野保育所とサツマイモ掘りをしましたが、今年度は苗植えから子供達と行いたいという希望が叶い、畑の放射線量の測定結果の伝え方を検討するなど、幼稚園や保護者に対して理解を得るための周到な準備を経ての実施となりました。

当日は、安齋会長の挨拶の後、^{ぼく}朴会員が苗の植え方を説明し、その後、各会員がサポートをしながら、園児たちに苗を植えてもらいました。園児たちからは、「サツマイモを植えるのが楽しい」、「早くサツマイモが食べたい」等の元気な声が上がっていました。



苗植えを指導する安齋会長

安齋会長は、「子供の頃に土に触れる経験は非常に重要だと考えている。自分たちがきっかけとなって、このような活動が各所で広まってほしい」と熱く話していました。

今後は、10 月頃にひらの幼稚園と平野保育所が合同でサツマイモ掘りを実施する予定です。

（農業振興普及部）

◆川俣町山木屋地区の営農再開に向けて「里山のつづ」実証栽培を開始！

平成 28 年 5 月 24 日（火）、川俣町山木屋字大黒前の水田において、山木屋営農組合により営農再開に向けた県オリジナル水稲新品種の「里山のつづ」実証栽培のための田植えが行われました。



山木屋地区で「里山のつづ」実証栽培の取組

これまで川俣町山木屋地区は、原発事故により避難指示解除準備区域と居住制限区域に指定され、農業者の帰還や営農再開が進んでいませんでしたが、現在、除染工事とともに、水田の暗きょ工事や用排水路工事も行われ、本格的な営農再開の条件が整えられてきています。

このような中、今年度は県内 7 か所で県オリジナル水稲新品種「里山のつづ」の実証栽培が行われることになり、その 1 つとして山木屋地区でも試験栽培を行うことになりました。

「里山のつづ」は「あきたこまち」並の早生で、「あきたこまち」に比べて多収で良質、いもち病や冷害に強いという特徴があります。お米の粒が大きく、しっかりとした歯ごたえと適度な粘りを備えた、食味が良い品種です。県内の中山間地域向けの品種として福島県農業総合センターで育成されました。

現在、「里山のつづ」は順調に生育しており、当農林事務所では、「あきたこまち」や「ひとめぼれ」と比較しながら地域における適応性を確認していきます。

今後、山木屋地区の営農再開がスムーズに進められるよう、県オリジナル水稲新品種「里山のつづ」

の定着に向けて引き続き取り組んでまいります。
(農業振興普及部)

◆川俣シャモの飼育で飼料用米の給与を開始！

平成 28 年 3 月 1 日（火）より、川俣町の川俣シャモを飼育する全農家において、新しい飼料給与が開始されました。新しい飼料は、重量換算で 10%を県産飼料用米（玄米全粒）で代替し配合したものです。



飼料用米を 10% 配合した飼料

川俣シャモは、福島県ブランド認証を受け、川俣町のみならず福島県を代表する特産品に成長してきました。原発事故により大きな打撃を受けましたが、飼育農家や関係機関の尽力により、平成 27 年には、年間出荷羽数が震災前より約 21% 増の 63,000 羽まで発展してきました。



飼料用米を配合した新飼料をついばむ川俣シャモ
これまでのトウモロコシを主な成分とする市販

の配合飼料価格は 75 円/kg ですが、県産飼料用米（価格が 15 円/kg）を 10% 代替することで、6 円/kg の費用低減となります。また、新飼料の利用は生産コストの削減だけでなく、原料に県産飼料用米を使用することで地産地消にもつながります。

川俣シャモファームの斎藤正博代表取締役は、「これまでの飼料用米給与と試験では、20% 代替でも、川俣シャモの発育速度や品質は良いという結果が出ているので、代替率を上げながら、給与飼料の更なるコストダウンを図りたい」と、力強く話していました。

今後は、県外工場から製造・供給されている体制を、地域内で整備することで輸送コストの低減につなげることが求められます。

(農業振興普及部)

◆ふくしま未来農業協同組合伊達地区本部主催の農業塾が今年も開講！

平成 28 年 5 月 25 日（水）、ふくしま未来農業協同組合伊達地区本部が主催する農業塾の開講式及び第 1 回目の講義が行われました。



開校式の様子

農業塾は、当地域の基幹品目である「もも」と「きゅうり」の 2 コースが設けられ、経験年数の少ない農業者に基本的な栽培知識と技能を習得してもらうことを目的に平成 19 年度から開講されており、今年度で 10 年目を迎えます。

受講生は毎年 25~30 名ほどで、若手就農者、定年帰農者、女性農業者などが対象です。今年度は、

「もも」コース 14 名、「きゅうり」コース 18 名の合計 32 名が受講し、各コースとも年内 6 回にわたって、栽培技術の講義や現地実習及び農業税務などに関する研修を行っていく予定です。



第1回目講義の様子

開講式では、ふくしま未来農業協同組合 荻原嘉昭伊達地区担当常務理事及び当農林事務所伊達農業普及所長が激励の挨拶を行った後、それぞれのコースに分かれて、伊達農業普及所職員が各品目の特性や栽培管理の基礎について講義を行いました。質疑応答では栽培技術や病害虫の発生や生態など数多くの質問が出され、受講生たちの熱心さが伝わる有意義な講義となりました。

(伊達農業普及所)

第1回 **おいしいふくしま いただきます** **キャンペーン** inみらいフェスタ

県産農林水産物のおいしさや安全性を再認識していただき、県評私扶と産地地消を推進するため、みらいフェスタの会場で県産農林水産物の消費拡大キャンペーンを実施します！

日時：平成28年7月16日(土)9:00~15:00
会場：みらい百彩館「んめ〜べ」(伊達市雪車町19) 店舗入り口付
おいしい地元産桃と夏野菜の試食をご用意してお待ちしています。
アンケートを記載していただいた先着200名のお客様に当日、旬の農産物とリサイクルエコバックをプレゼントします。

福島県の農林水産物は、生産者のおいしさへの追求と安全なものづくりへの工夫が詰まった逸品ぜひ、お買い求めください！

みんなで産地産の農産物を消費しよう!! ~ふくしま産の農産物を~

主催：ふくしま未来農業協同組合
福島県農業普及所 伊達地区担当 電話 024-036-0222

(企画部)

◆第1回「おいしい ふくしま いただきます！」
キャンペーン in んめ〜べ開催予告！

- ・日時：平成 28 年度 7 月 16 日 (土)
午前 9 時～午後 3 時
- ・場所：ふくしま未来農業協同組合ファーマーズ
マーケットみらい百彩館「んめ〜べ」
(住所：伊達市雪車町 19)
※おいしい地元産ももと夏野菜の試食が
できます。
※アンケートに回答していただいた方
先着 200 名様にエコバッグプレゼント！
※同会場にて「みらいフェスタ 2016」開催。
- ・皆様のお越しを心よりお待ちしております！！

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動県北地方推進本部の構成員活動紹介

生活協同組合コープふくしま “地域とともに福島応援隊の取組”

生活協同組合コープふくしまでは、東日本大震災及び原発事故による農産物の風評被害に苦しみ続けている果樹農家を応援する「福島応援隊」の取組を地域の皆様とともに行っています。

応援隊の「実行委員会」は、生活協同組合（福島県生活協同組合連合会・生活協同組合コープふくしま）と農業協同組合関連グループ（福島県農業協同組合中央会・全国農業協同組合連合会福島県本部・ふくしま未来農業協同組合）、市場関係者から組織されており、これまで、「福島の桃・りんごギフト」のPRと利用促進、事業への協賛等を県内の各界、各層に呼びかけてきました。更に各組織からは、関連する全国の団体、企業等へ参加を呼びかけていただきギフトの利用を通して福島復興、再生につなげる活動をしてきているところです。



震災以降、夏はもも、冬はりんごを中心に10回の取組で全国各地の200を超える（昨年は216か所）団体、事業所、企業の皆様に御利用いただきました。これまでの利用者は延べ12,480人で23,998箱の御注文をいただきました。

平成28年6月9日（木）には、昨年の利用者からの「応援メッセージ」（1,200名）をふくしま未来農業協同組合様に冊子として贈呈しました。心のこもったメッセージはまさに「応援隊」の大きな励みとなっています。

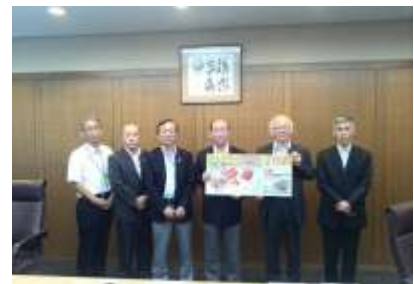
これからも多くの企業・団体様の御協賛と取組の参加、賛同をいただきながら、応援の輪を広げていきます。



ふくしま未来農業協同組合福島地区本部にて応援隊メッセージの贈呈



ふくしま未来農業協同組合伊達地区本部にて応援隊メッセージの贈呈



日本生活協同組合連合会 浅田会長への協力要請

※「がんばってます！福島～夏の美味しさ届けます。桃ギフト」の御案内（「2016夏 福島応援隊」の取組）

- ・ 郵送又はインターネットで御注文をお受けします。後日代金支払用の振込用紙を送付します。
- ・ ギフトカタログを郵送にてお送りします。
- ・ カタログ・申込書はホームページ（<http://www.fukushima.coop/>）でダウンロード可。

問合せ：福島応援隊実行委員会事務局 生活協同組合コープふくしま（電話 024-557-1340）

福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-535-0382 FAX 024-536-9590

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

